

令和2年2月10日

ふじみ野市長 高 畑 博 様

ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

会長 中 村 賢 一

ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について（答申）

令和元年10月11日付けふ経第370号で諮問のあった「ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂」については、本審議会において慎重に審議を重ねてまいりました。本審議会の意見を踏まえ策定された「第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（案）について、下記の意見を付して答申します。

記

1 総合戦略の実効性について

第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第2期市総合戦略」とします。）は、国の第2期総合戦略の「現行の枠組を引き続き維持し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいく」という方針を基に、同様の視点により見直された計画となっております。

特に、これまでの本審議会の効果検証においても課題として挙げていた施策としての「マリッジサポート」や「いきいきクラブ会員数」のKPI等について、行政として取り組む必要性や社会情勢の変化による設定の妥当性等の見直しを行うなど、実情に即した実効性の高い改定がなされていることから、PDCAサイクル機能を最大限活用し、施策等の進捗管理を行うとともに、その検証に基づき効果的な施策展開がより一層図られることを期待します。

2 総合戦略の方向性について

第2期市総合戦略においては、施策体系とSDGsの17のゴールとの関連性を整理するとともに、「経済」、「社会」、「環境」の三側面を統合する施策の推進を図るため、「環境にやさしい循環型のまちづくりの推進」を新たな施策として加えることで、横断的な視点による施策展開が図られることから、SDGs達成に向けた取組の実現を期待します。

また、Society 5.0時代の自治体として、ICTや最先端技術を活用した市民生活の向上や市の魅力発信を行い、地域課題の解決に取り組むとともに、多様な世代に選ばれるまちを目指してください。

現在、ふじみ野市の人口については増加傾向にあるものの、令和12年をピークに減少に転じると推計されていることから、現状に甘んじることなく、危機感を持ち、更なるふじみ野市の発展に向けてご尽力いただくことを期待します。